

取扱説明書

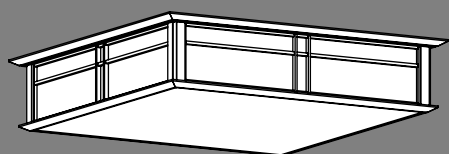
保証書別添

日立LED照明器具

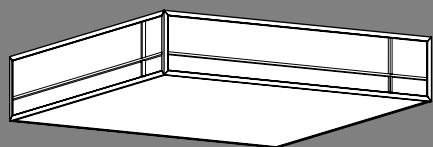
型式

LEC-CH1200BJ
LEC-CH1201BJ
LEC-CH1202BJ
LEC-CH800BJ
LEC-CH801BJ
LEC-CH802BJ

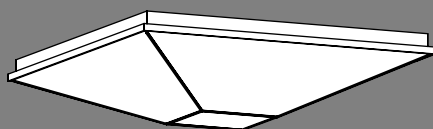
LED シーリング



形式：LEC-CH1200BJ
LEC-CH800BJ



形式：LEC-CH1201BJ
LEC-CH801BJ



形式：LEC-CH1202BJ
LEC-CH802BJ

このたびは日立LED照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

「安全上のご注意」→P.5 をお読みいただき、正しくお使いください。

工事店様へ

この説明書は、工事終了後、お客様にお渡しください。

HITACHI
Inspire the Next

もくじ

ご使用の前に

便利な機能・・・・・・・・・・・・・・・・	2
各部のなまえ・付属品・・・・・・・・	3
安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・	5
使用上のご注意・・・・・・・・・・・・・	6

使いかた

取り付ける前に・・・・・・・・・・・・・	7
開梱後の器具の取り外しかた・・・・・	7
器具の取り付けかた・・・・・・・・・・・・・	8
リモコンの準備・・・・・・・・・・・・・	11
・乾電池の入れかた・・・・・・・・・・・・・	11
・時計の合わせかた・・・・・・・・・・・・・	11
・チャンネルの設定・・・・・・・・・・・・・	12
点灯・消灯のしかた・・・・・・・・・・・・・	13
・リモコンで操作する・・・・・・・・・・・・・	13
・壁スイッチで操作する・・・・・・・・・・・・・	13
節電モード・・・・・・・・・・・・・	14
あかりセレクト・・・・・・・・・・・・・	14
タイマー予約・・・・・・・・・・・・・	15
留守番・・・・・・・・・・・・・	16
おやすみ30分・60分・・・・・・・・・・・・・	17
調色・調光・・・・・・・・・・・・・	17
・連続調色・・・・・・・・・・・・・	17
・連続調光・・・・・・・・・・・・・	17
器具の取り外しかた・・・・・・・・・・・・・	18

お手入れ

お手入れ・・・・・・・・・・・・・	19
-------------------	----

お困りのときは

お困りのときは・・・・・・・・・・・・・	19
仕様・・・・・・・・・・・・・	20
保証とアフターサービス・・・・・・・・・・・・・	20

便利な機能

[節電モード] ボタンひとつでかんたん節電

節電 モード

節電を重視したいときは、節電モードで明るさ基準内中央の明るさ（節電1）と下限の明るさ（節電2）に調光して消費電力を節電します。

操作のしかたは →P.14

[あかりセレクト] 光の色と明るさを組み合わせて生活空間を演出

あかり セレクト

光の色を調整できる LED の特性と明るさを組み合わせて設定された「図書館のあかり（読書／趣味）」「蛍光灯のあかり（さわやかな白）」「電球のあかり（暖かい色）」「食卓のあかり（だんらん）」をボタンひとつで選べます。

操作のしかたは →P.14

「図書館のあかり」

読書や趣味などに適した
白色のあかり

「蛍光灯のあかり」

広く使われている蛍光灯
に近いさわやかな
白さのあかり

「電球のあかり」

暖かみのある白熱電球
に近いあかり

「食卓のあかり」

食事やだんらんの
あかり

調色・調光

操作のしかたは →P.17

連続調色

光の色をきめ細かく調整。

連続調光

明るさを100%～約5%
まで、きめ細かく調整。

タイマー予約

操作のしかたは →P.15

簡単予約で指定した時間に
点灯・消灯が可能です。

留守番

操作のしかたは →P.16

毎日決まった時刻に「自動
点灯・自動消灯」ができ
ます。

おやすみ 30・60分

操作のしかたは →P.17

ボタンひとつで30分・60
分後に消灯か保安灯を選べ
ます。おやすみになるとき
などに便利です。

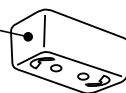
各部のなまえ・付属品

※代表型式 LEC-CH1201BJで説明しています。

●P3、P4の図を参照して、各部品をお確かめください。

※図は取り扱い方法を説明するための、簡略図になっています。

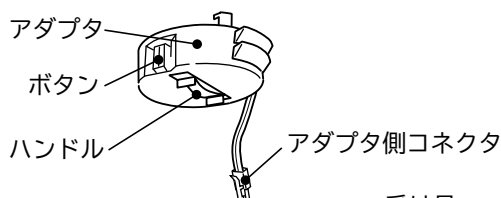
角形引掛シーリングボディなどの
配線器具は付属しておりません。



●本体裏側のスポンジや
パッキンをはがさない

必ず守る

※器具のガタつきや回転防止、
防虫のためです。



リモコン受信部/LED保安灯

スポンジ
(本体裏側)

パッキン
(本体内側全周)

LED光源

本体側コネクタ

中央キャップ

受け具

配線押え
(対面2か所)

本体

器具銘板
[型式表示]

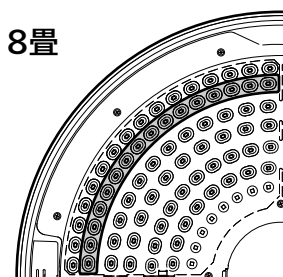
引掛穴
(対面2か所)

爪
(対面2か所)

●LEDの数は、適用畳数
により異なります。
8畳では図のように
なります。

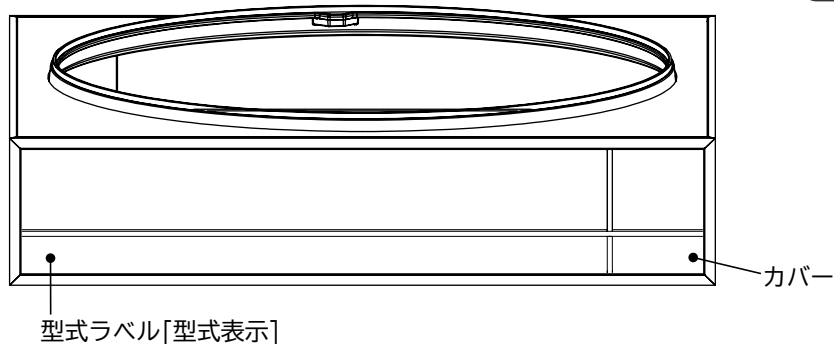
タイプ(畳)	LED数
12	320
8	256

8畳



(網かけ部分はLEDが付いて
いません)

※イラストは、本体の1/4を
表しています。



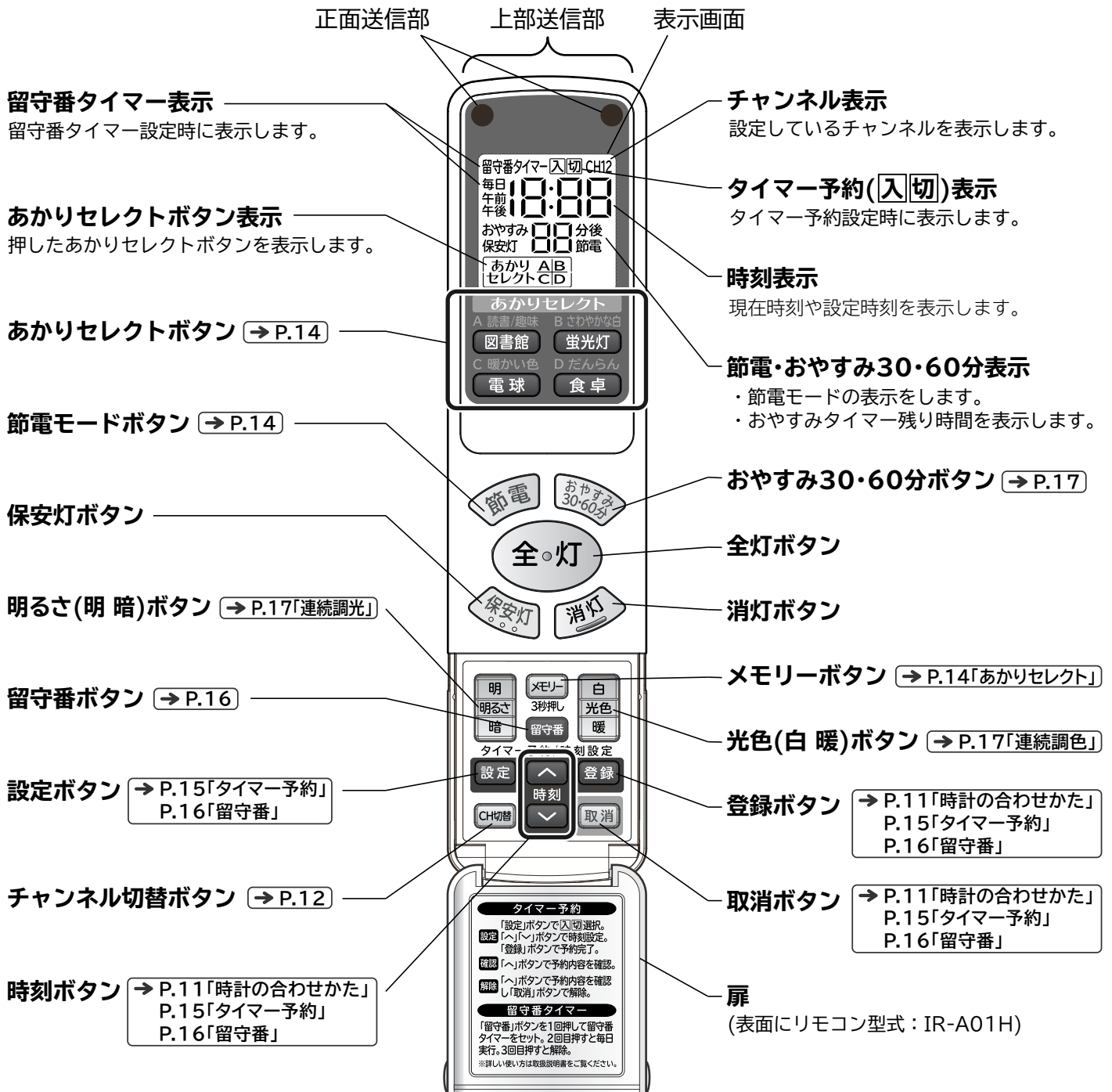
型式ラベル[型式表示]

カバー

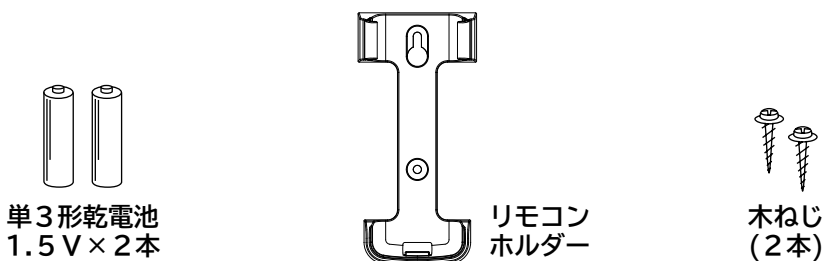
各部のなまえ・付属品(続き)

リモコン

操作ボタンを押すとリモコン送信部からの信号が本体に入り、本体から電子音が「ピッ」と鳴り受信をお知らせします。操作ボタンを押しても点灯状態が変わらないときは、電子音が「ピッピッ」と鳴ります。



付属品



安全上のご注意(必ずお守りください)

お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

危害や損害とその程度の区分



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例



「警告や注意を促す」内容のものです。



してはいけない「禁止」内容のものです。



実行していただく「指示」内容のものです。

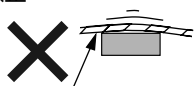
警告



このような場所には取り付けない

※器具の落下によるけがの原因となります。

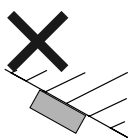
禁止



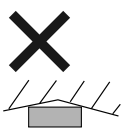
押すと簡単にたわむ
補強のない天井



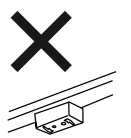
ケースウェイ取り付け形
ローゼット、シーリングボディ



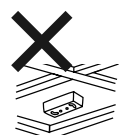
傾斜天井



舟底天井



竿縁天井



格子天井



●器具の改造、構成部品の交換はしない

※火災・感電・故障の原因となります。

禁止

●器具のすきまに金属類(ヘアピン・針金など)を差し込まない

※感電・故障の原因となります。



このような配線器具には取り付けない

※火災・感電・器具の落下によるけがの原因となります。

禁止



欠け 割れ
破損しているもの



ガタつくもの



19mm未満
使用不可



角形・丸形引掛
シーリングボディ



電源が露出して
いるもの



10mm未満
使用不可



丸形埋込引掛シーリングボディ

このような場合は、
電気工事店に依頼して
配線器具を交換してく
ださい。

注意

●定格電圧 交流100V以外で使用しない

※過熱し、火災の原因となります。

●浴室などの湿気の多い場所や、常時温度の高い場所(35℃以上)では使用しない

※絶縁性能が低下し、火災・感電の原因となります。

●調光器では使用しない(100%点灯でも使用不可)

※過熱し、火災の原因となります。

●取り付け、取り外し、お手入れの際は電源を切る

※電源を切らないと感電の原因となります。

●中央キャップは確実に取り付ける

※過熱時の延焼防止のためです。

●照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。

点検・交換をお勧めします。点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至るおそれがあります。

●器具の真下にストーブなどを置かない

※過熱し、火災の原因となります。

●屋外で使用しない(この器具は屋内専用です)

※火災・感電の原因となります。

●点灯中および消灯直後は、器具が熱くなっているので触らない

※やけどの原因となります。

●器具にボールなどの物をぶつけたり、衝撃を与えない

※器具の落下によるけがの原因となります。

●カバーを外して、点灯しているLED光源を直視しない

※目を傷めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。

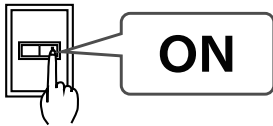
使用上のご注意

- 山間部や鉄筋建物など、電波の弱い地域では、ラジオや屋内アンテナ使用のテレビに影響する場合があります。このような場合は、ラジオや屋内アンテナを器具から離してお使いください。
- 器具の近くでは、ラジオやテレビに雑音が入ったり、他の家電品の赤外線リモコンが動作しない場合があります。このような場合は、ラジオやテレビ、他の家電品を器具から離してお使いください。
- 短い停電(0.2秒～2秒以内)や電圧の低下などにより、点灯状態が切り替わる場合があります。長時間、器具を使用しない場合は電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切ることをおすすめします。ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。
- LED光源のみの交換はできません。交換の際は器具ごと交換してください。
- LED素子の発光色などのバラツキなどのため、同一型式商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる、またはムラが生じる場合があります。
- 天井の材質や構造によって、器具取り付け天井面が変色する場合があります。
- 温泉地などの腐食性ガスが発生する場所での使用はお避けください。光学特性などに不具合が発生することがあります。

リモコン使用上のご注意

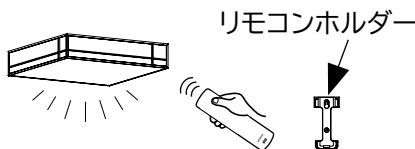
※代表形式 LEC-CH1201BJで説明しています。

- 壁スイッチはONにしてご使用ください。



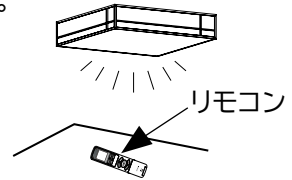
壁スイッチはONにする

- リモコンはリモコンホルダーから取り出して、器具に向けて操作してください。



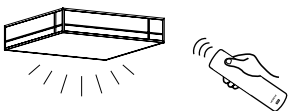
器具に向けて操作する

- 「タイマー予約」で使用する場合は、リモコンを器具の真下付近に置いて、ご使用ください。また、リモコンを置く場所から器具が動作するか確認してください。



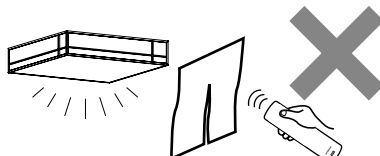
器具の真下付近に置く

- 周囲の環境条件、天井・壁・床の色や材質などにより、リモコンが動作しにくい場合があります。その場合は、器具に近づけてリモコン操作をしてください。



器具に近づけて操作する

- リモコンと器具の間にしゃへい物があると器具が動作しない場合があります。その場合は、しゃへい物を避けてリモコン操作をしてください。



しゃへい物を避ける

- 器具とリモコンのチャンネルを合わせて操作してください。「チャンネルの設定」→P.12をご参照ください。



チャンネルを合わせる

- 温度が高くなる物の上や湿気の多い場所でのご使用や、水にぬらしたりしないでください。また、リモコンを落としたり衝撃を与えたりしないでください。変形や故障の原因となります。
- 乾電池の残量が少なくなってくると表示画面が点滅を始めますので、乾電池を交換してください。また、表示画面が消えてから乾電池を交換した場合、時刻表示および予約内容は工場出荷時の状態に戻りますので、設定し直してください。

取り付ける前に

- 天井にこのような配線器具がついている場合は、電気工事なしで器具が取り付けられます。
ただし、このような配線器具でも取り付けてはいけないものがあります。

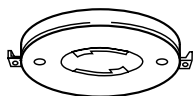
→ P.5「△警告 このような配線器具には取り付けない」



角形引掛
シーリングボディ



丸形引掛
シーリングボディ



埋込形引掛
シーリングローゼット



必ず守る

- 天井に配線器具が付いていない場合は、電気工事店(有資格者)に取り付け工事を依頼する

※工事には資格が必要です。

開梱後の器具の取り外しかた

※代表型式 LEC-CH1201BJで説明しています。

※器具は包装用部品に固定されていますので、下記に従い取り外してください。

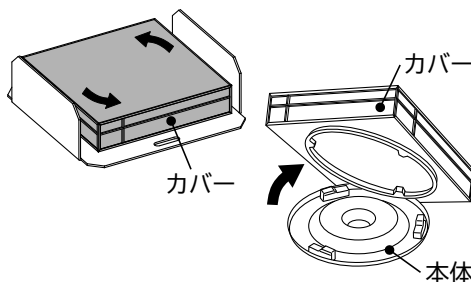
無理に外すとカバー破損などの原因となります。

1

カバーを本体から外す

カバーは本体に固定されていますので、左に30度程度回してから、ゆっくりとカバーを持ち上げてください。

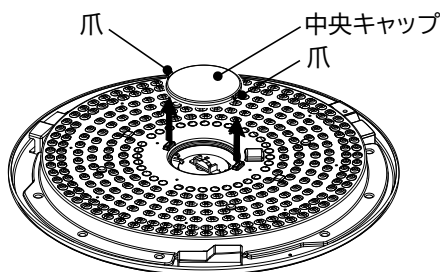
※無理に外すとカバー破損の恐れがあります。



2

中央キャップを外す

本体中央の中央キャップの両側の爪を持って取り外してください。



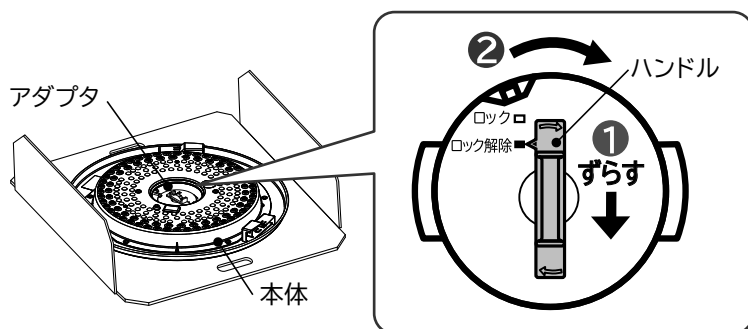
3

本体を外す

- ① アダプタの緑のハンドルをずらして、ロック解除の位置に合わせてください。

- ② アダプタをつかみ、ハンドルを右に回してアダプタと本体を取り外してください。

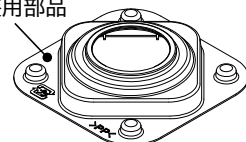
※アダプタが本体の奥に入って取り出しにくいときは、本体を取り外したあと、包装用部品の裏側などからアダプタを取り外してください。



ご注意

この部品は、包装用部品です。
器具の取り付けには使用しません。

包装用部品

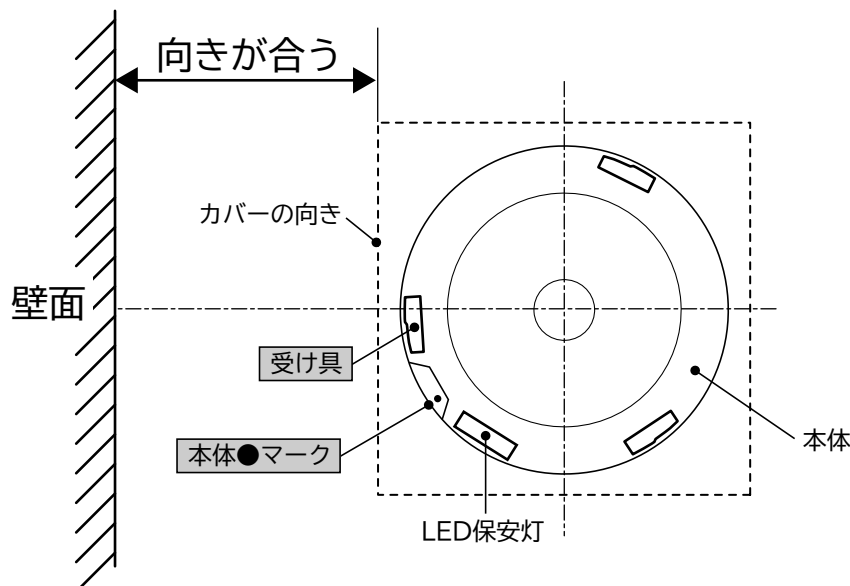


器具の取り付けかた

カバーの向きと部屋の向きの合せかたの目安

※代表型式 LEC-CH1201BJで説明しています。

●カバーの向きと部屋の向きを合わせる目安として、**本体●マーク**側の**受け具**を下図のように壁面に向けて取り付けてください。



1

電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切る

※ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。



●器具の取り付けの際は、**電源を切る**

必ず守る ※電源を切らないと、感電の原因となります。

2

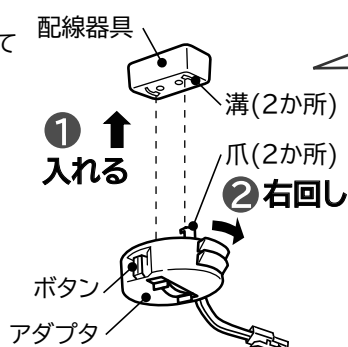
配線器具にアダプタを取り付ける

① 配線器具(引掛シーリングボディなど)の溝にアダプタの爪を入れる

●必ず同梱しているアダプタを使用してください。

② 右方向にいっぱいまで回す

●ロックが掛かり固定されます。

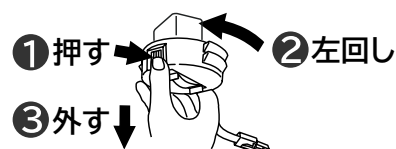


●取り付け後、ボタンを押さずに左方向に回し、外れないことを確認する

必ず守る ※取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。

アダプタの取り外しかた

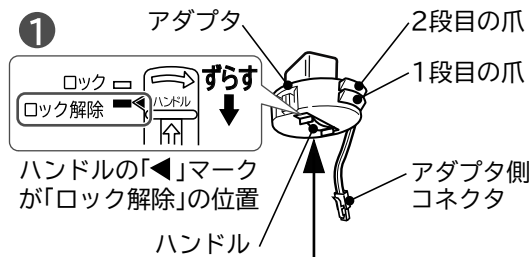
●ボタンを押しながら、左方向へ回してください。



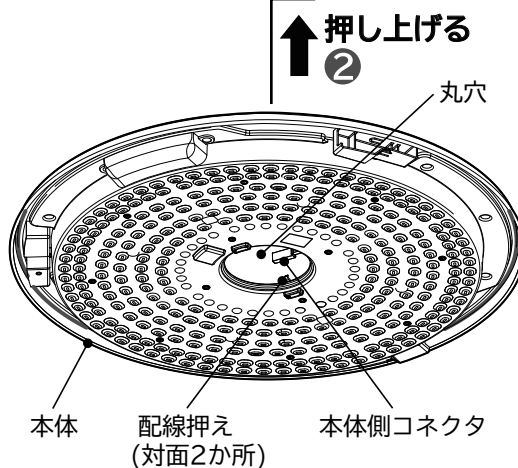
3

アダプタに本体を取り付ける

- ① ハンドルが「ロック解除」の位置になっていることを確認する
なっていない場合は、「ロック解除」の位置にずらす



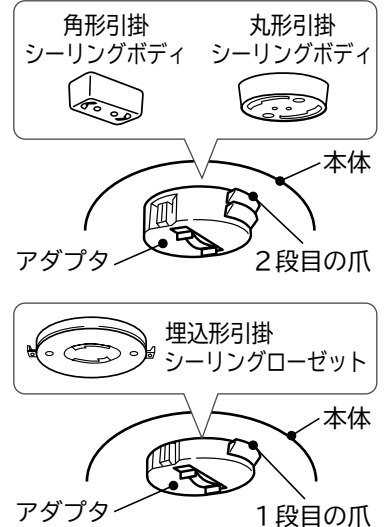
- ② アダプタ側コネクタを本体の丸穴に通し、丸穴をアダプタに合わせて、アダプタ両側の爪に掛かるまで押し上げる
本体がガタつく場合はさらに押し上げる
(爪は上下2段あります)



- 本体裏側のスポンジやパッキンをはがさない
※器具のガタつきや回転防止、防虫のためです。

- 天井に付いている配線器具により、本体に掛かる爪の位置が変わるので、下の図を参照し、適切な爪(両側2か所)が本体に掛かっていることを確認する

※取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。



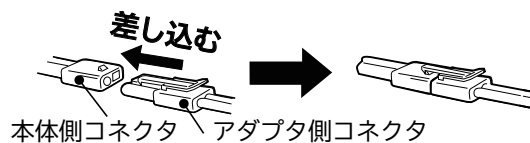
4

ハンドルを「ロック」の位置にずらす



5

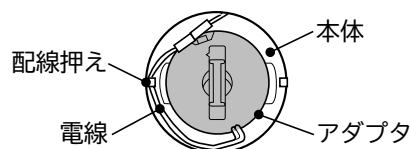
アダプタ側コネクタと本体側コネクタとを確実に差し込む



- コネクタや電線を無理に引っぱらない
※電線が断線し、感電、故障の原因となります。

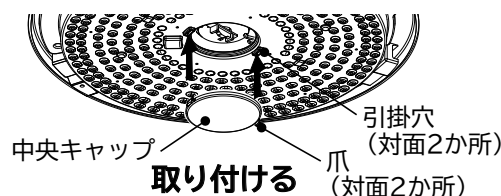
6

アダプタ側の電線を、配線押えに引っ掛ける



7

中央キャップの爪を、引掛穴に引っ掛けて確実に取り付ける



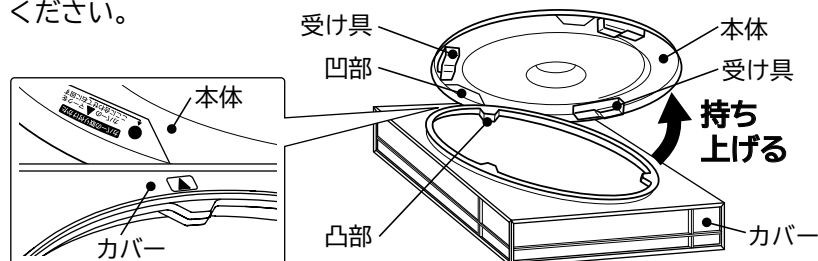
- 中央キャップは必ず取り付ける
※過熱時の延焼防止のためです。

器具の取り付けかた(続き)

8

本体の受け具横の凹部にカバーの凸部を合わせ、
本体内側にカバーをあてて、カバーを持ち上げて
本体にかぶせる

本体凹部にある●マークにカバー凸部にある▲マークを合せて
ください。



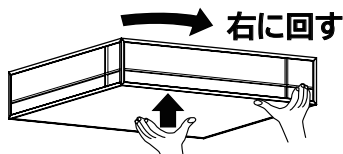
必ず守る

●取り付け後、カバーを
軽く下に引っ張り、外
れないことを確認する

※取り付けが不完全な場合、
器具の落下によるけがの
原因となります。

9

カバーを押し上げながら、「カチン」と音がして
止まるまで右に回す



禁止

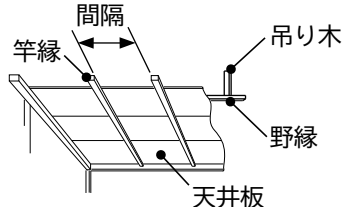
●カバーを正しく取り付
けた後は、カバーを無
理に回さない

※器具の破損、落下による
けがの原因になります。

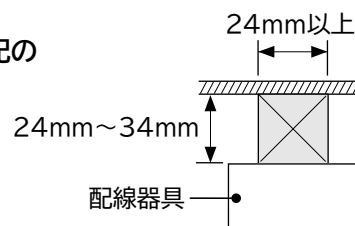
※竿縁天井は別売りの竿縁天井用シーリングアダプタRCA-01を併用することで使用可能となる場合があります。

竿縁天井に取り付けられる条件

- 竿縁の間隔が
250mm以上
である
- 竿縁が天井裏で
補強されている



- 竿縁の高さが右記の
範囲内である



リモコンの準備

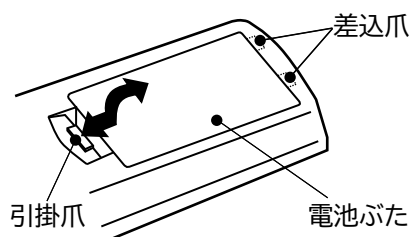
乾電池の入れかた

- 1 リモコン裏面の電池ぶたの引掛爪を外して、電池ぶたを取り外す

- 2 付属の単3形乾電池を ⊕ ⊖ の表示に合わせて入れる

時刻を合わせる場合は → P.11「時計の合わせかた」をご参照ください。

- 3 電池ぶたの差込爪をリモコンに差し込み、引掛爪を「パチン」と音がするまで入れて取り付ける



乾電池について

- 乾電池を誤って使うと液もれや破裂の危険があります。乾電池の注意文をよく読み、注意してご使用ください。
 - ・電池の液が目に入った場合は失明やけがのおそれがあるので、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けること。
 - ・発熱、液もれ、破裂、機器破損のおそれがあるので、⊕ ⊖ 逆接続、ショート、分解、新旧電池や銘柄の違う電池・異種電池の混用、充電、加熱、火に入れるなどしないこと。
 - ・電池の液が、皮ふや衣類に付着した場合には水で洗い流すこと。
- 液もれによる故障の原因となるので、長時間使用しない場合は乾電池を取り外しておいてください。
- リモコンの乾電池は、約半年を目安に交換してください。
- 付属の乾電池は、リモコン操作確認用として同梱していますので、使える期間が短い場合があります。

時計の合わせかた

- 1 時刻表示が点滅するまで、**登録** ボタンを約3秒以上、長押しする



- 2 **時刻** ボタンで現在時刻を設定する

- ボタンを1回押すごとに1分刻みで時刻が変わります。
- ボタンを押し続けると10分刻みで時刻が変わります。



- 3 **登録** ボタンを押す

- 「:」だけが点滅し、設定が完了します。



※設定を途中でやめたいときは **取消** ボタンを押してください。
また、1分間操作がない場合は時刻設定を終了します。
このとき、設定途中の時刻は登録されません。



リモコンの準備(続き)

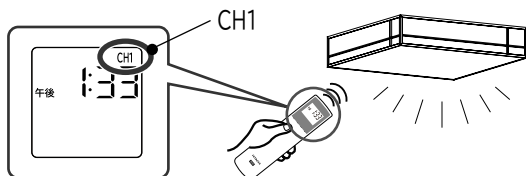
チャンネルの設定

※リモコンはリモコンホルダーから取り出して、器具に向けて操作してください。
部屋でご使用になる照明器具の台数に応じ、次のようにチャンネルを設定してください。

1台のリモコンで1台の器具を操作する場合

リモコンをチャンネル1に合わせて操作します。

表示画面のチャンネル表示が「CH1」

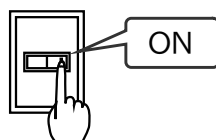


※出荷時は、チャンネル1に設定しています。
リモコンの表示画面が「CH1」になっていることを確認のうえ、器具にリモコンを向けて操作してください。

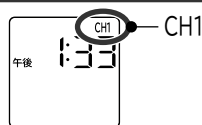
1台のリモコンで2台の器具を操作する場合

器具のチャンネル設定をします。

1 壁スイッチはONにする

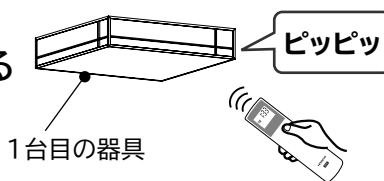


2 リモコンの [CH切替] ボタンを押して、表示画面のチャンネル表示を「CH1」にする

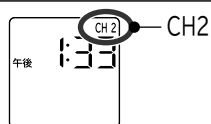


3 1台目の器具にリモコンを向け、 [全・灯] ボタンを約3秒間、長押しする

- 器具から電子音が「ピッピッ」と2回鳴り、設定の完了をお知らせします。

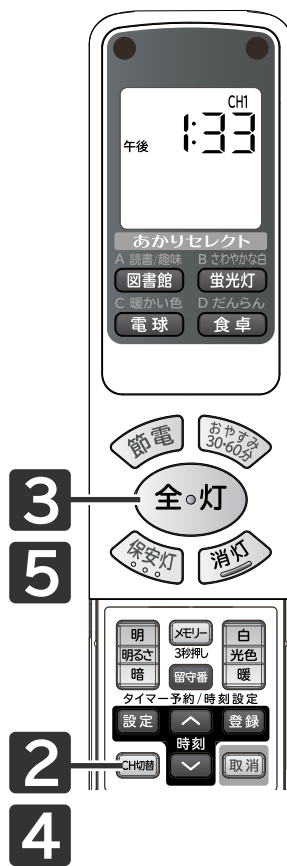
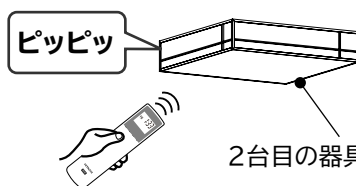


4 リモコンの [CH切替] ボタンを押して、表示画面のチャンネル表示を「CH2」にする

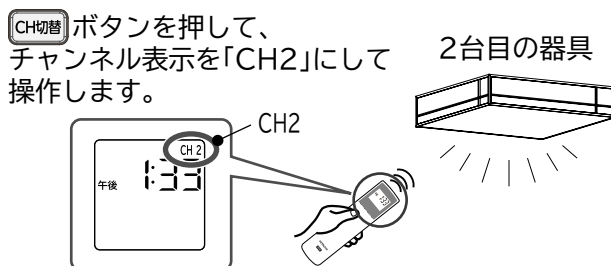
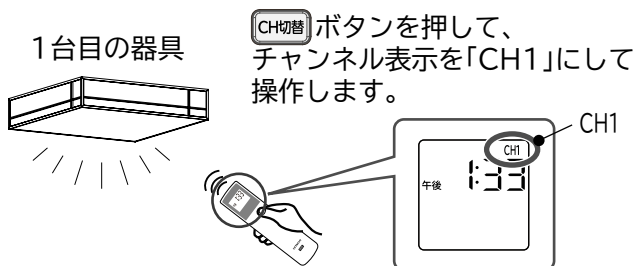


5 2台目の器具にリモコンを向け、 [全・灯] ボタンを約3秒間、長押しする

- 器具から電子音が「ピッピッ」と2回鳴り、設定の完了をお知らせします。



●チャンネル設定が完了したら、リモコンを各々の器具に向けて操作してください。



ご注意

●リモコンは、他の日立リモコン照明器具に対しても操作できますが、チャンネルの設定のしかたは、その商品の取扱説明書をご参照ください。
また、機種によってはリモコンで操作できる機能が制限される場合があります。

点灯・消灯のしかた

リモコンで操作する

※代表型式 LEC-CH1201BJで説明しています。

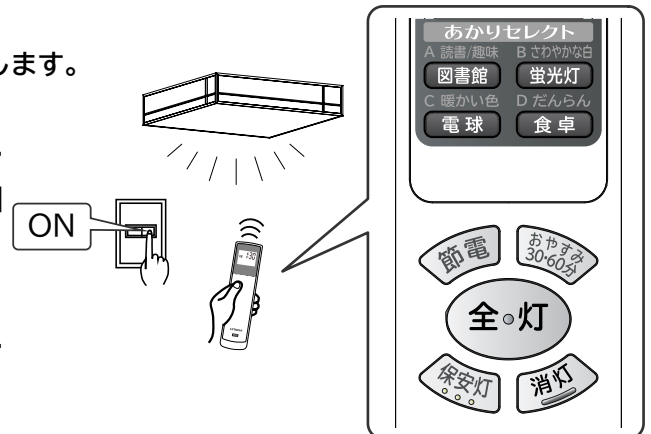
壁スイッチをONにして、リモコンを器具に向けて、操作します。

点灯するとき

全灯 ボタン、節電 ボタン、「あかりセレクト」ボタン、保安灯 ボタンのいずれかを押します。

消灯するとき

消灯 ボタンを押します。

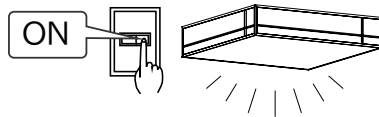


壁スイッチで操作する

※代表形式 LEC-CH1201BJで説明しています。

点灯するとき

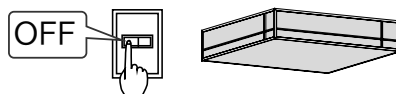
壁スイッチをONにします。



※点灯しない場合は、壁スイッチがONの状態、約1秒を目安に「OFF→ON」してください。

消灯するとき

壁スイッチをOFFにします。

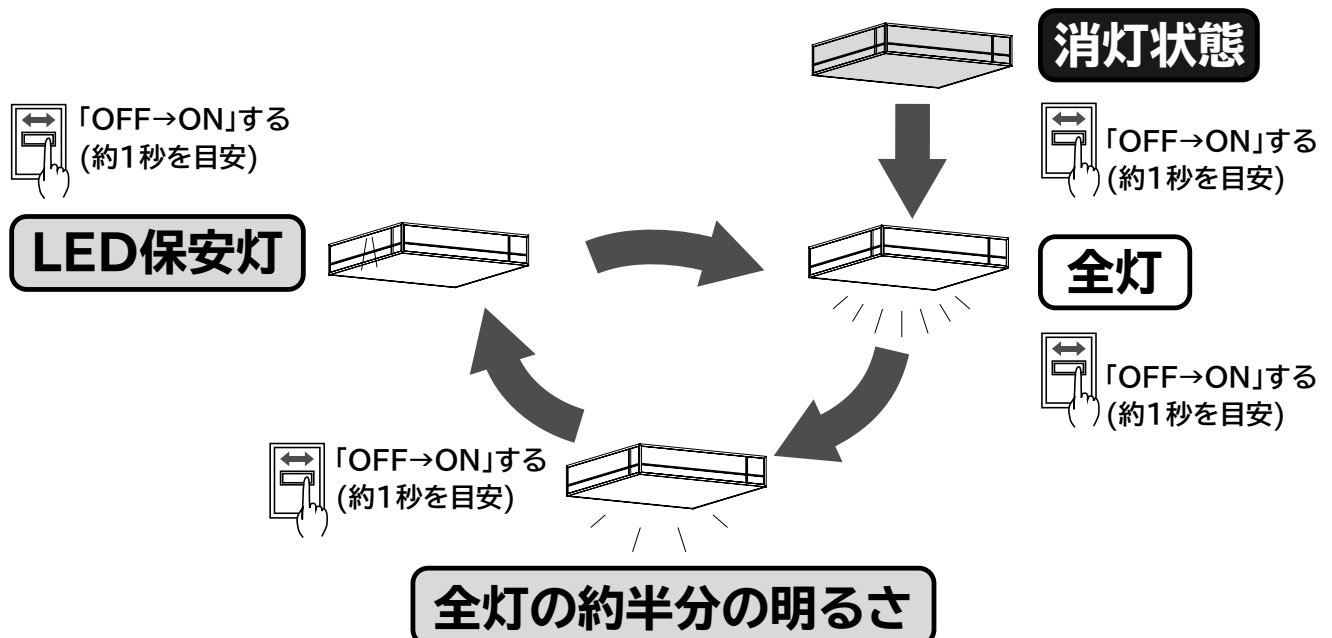


●壁スイッチをOFFにした後に、壁スイッチをONにすると、壁スイッチをOFFにする前の点灯状態になります。

点灯状態を切り替えるとき

壁スイッチがONの状態、約1秒を目安に「OFF→ON」することで器具の点灯状態を切り替えることができます。

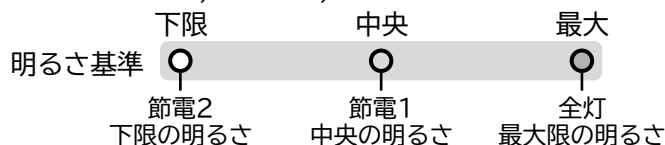
- 1個の壁スイッチで2台以上の器具を使用すると、点灯状態が同時に切り替わらない場合があります。
- 0.2秒以下や2秒を超えた場合は検知しないので、点灯状態の切り替えはできません。
- 「あかりセレクト」ボタン、節電 ボタン、明るさ (明 暗) ボタン、光色 (白 暖) ボタンで明かりを調整した点灯状態から、約1秒を目安に「OFF→ON」するとLED保安灯になります。



節電モード

※リモコンはリモコンホルダーから取り出して、器具に向けて操作してください。

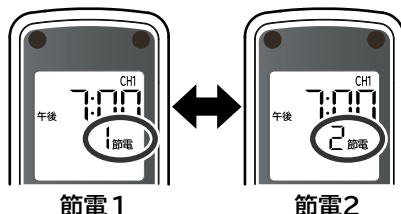
節電モードは、適用畳数(一般社団法人日本照明器具工業会の定める「住宅用カタログにおける適用畳数表示基準」(ガイド121:2011)による。)の明るさ基準の範囲で、全灯の明るさを2段階に調光して節電します。



設定のしかた

節電 ボタンを押す

- **節電** ボタンを押すごとに「節電1」「節電2」と表示画面が切り替わります。
 - ・節電1 (全灯より12畳タイプ約6W、8畳タイプ約8W節電)
全灯から1段階明るさが落ちます。
 - ・節電2 (全灯より12畳タイプ約13W、8畳タイプ約15W節電)
節電1 からさらに1 段階明るさが落ちます。



解除のしかた

- 全灯、消灯、保安灯、明るさ、光色、あかりセレクトのいずれかのボタンを押すと解除されます。

あかりセレクト

※リモコンはリモコンホルダーから取り出して、器具に向けて操作してください。

- あかりセレクトは、「図書館のあかり(読書/趣味)」「蛍光灯のあかり(さわやかな白)」「電球のあかり(暖かい色)」「食卓のあかり(だんらん)」の、設定された4つのあかりが選べます。
- 選んだあかりの明るさや光色を変えることもできます。
- あかりセレクトの4つのボタンに、自分で調整したお好みのあかりを記憶することもできます。

1

あかりセレクトの使いかた

お好みのあかりセレクトボタンを押す

- あかりセレクトボタンを押すと表示画面に押したモードをA、B、C、Dで表示します。



2

明るさや光色を変えるとき

白 暖 明 暗 ボタンでお好みの明かりに調整する

- 調整は → P.17「調色・調光」をご参照ください。

3

あかりセレクトボタンにお好みの明かりを記憶したいとき

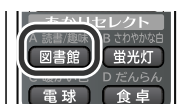
2で調整したあかりセレクトボタンを、お好みの明かりで点灯させたまま **メモリー** ボタンを約3秒間長押しする

- 器具から「ピッ」と音がして記憶します。次からは、この記憶したあかりセレクトボタンを押せば、お好みの明かりで点灯します。

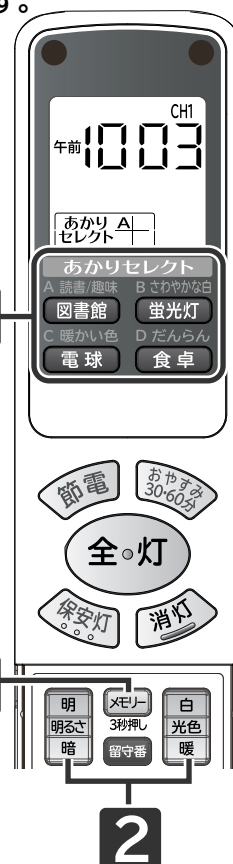
記憶を解除したいとき

- 記憶を元に戻したいあかりセレクトボタンを約3秒間長押しすると、器具から「ピピッ」と音がして、工場出荷時の状態に戻ります。

※ 例: **図書館** を約3秒間長押し



1



3

2

タイマー予約

●留守番とは別の時刻設定ができます。

※リモコンは器具の真下付近に置いてご使用ください。また、リモコンを置く場所から器具が動作するか確認してください。
タイマー予約は、「点灯」、「消灯」、「点灯および消灯」のタイマー予約ができます。また、「点灯」は光色ボタンの白の上限の明るさ(全灯の約半分)で点灯します。

タイマー予約の設定のしかた

※10秒間操作がない場合は、現在時刻表示に戻ります。
このとき、設定途中の時刻は登録されません。

1

「留守番タイマー」が表示されていない事を確認し、
現在時刻画面で **設定** ボタンを押す

- **設定** ボタンを押すごとに、「タイマー入」→「タイマー切」→現在時刻画面に戻る、と表示画面が切り替わります。設定したい表示にしてください。

「タイマー入」表示

「タイマー切」表示

現在時刻表示に戻る

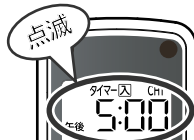


※工場出荷時は、点灯「午後6:00」、消灯「午後10:00」に設定されています。

2

↑ ↓ ボタンで時刻を設定する

- ボタンを1回押すごとに1分刻みで時刻が変わります。
- ボタンを押し続けると10分刻みで時刻が変わります。



3

登録 ボタンを押す

- 時刻の点滅が止まり、現在時刻表示画面に戻りタイマー予約の設定が完了します。
 - 予約中は「タイマー入」や「タイマー切」が表示されます。また、表示をしていれば毎日実行します。
- ※タイマー予約時刻の変更をする場合も、上記の手順で設定してください。
- ※設定を途中でやめたいときは **取消** ボタンを押してください。
このとき、設定途中の時刻は登録されません。



タイマー予約の内容確認

※10秒間操作がない場合は、現在時刻表示に戻ります。

現在時刻表示で **↑** ボタンを押す

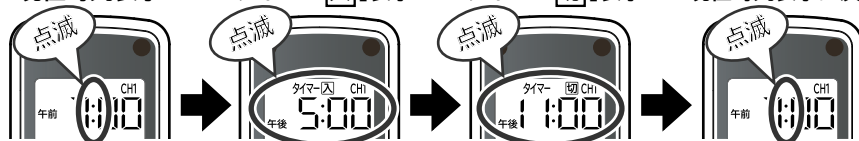
- **↑** ボタンを押すごとに、表示画面が切り替わり、予約内容が確認できます。

現在時刻表示

「タイマー入」表示

「タイマー切」表示

現在時刻表示に戻る



タイマー予約の取り消し

※10秒間操作がない場合は、現在時刻表示に戻ります。

1

現在時刻表示で **↑** ボタンを押して、
取り消したいタイマー予約を表示する

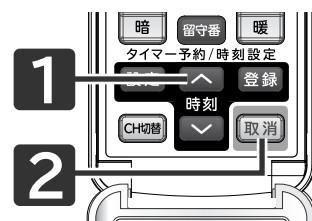
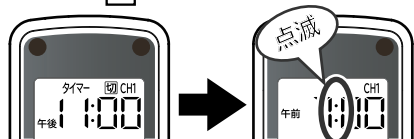
- **↑** ボタンを押すごとに、表示画面が切り替わります。

2

取消 ボタンを押す

- 表示したタイマー予約が解除されます。現在時刻表示画面に戻り、予約中を示す「タイマー入」や「タイマー切」の表示が消えれば取り消しが完了します。

※例 「タイマー切」表示 「現在時刻表示」に戻る



留守番

●タイマー予約とは別の時刻設定ができます。

※リモコンは器具の真下付近に置いてご使用ください。また、リモコンを置く場所から器具が動作するか確認してください。

留守番で「自動点灯・自動消灯」ができます。また、「自動点灯」は光色ボタンの白の上限の明るさ(全灯の約半分)で主光源が点灯し、リングはフレッシュブルーで点灯します。

1

留守番設定のしかたと設定内容の確認

「留守番タイマー」が表示されていないことを確認し、
現在時刻画面で **留守番** ボタンを1回押す

- 「留守番タイマー入」、「留守番タイマー切」が設定内容(時刻)とともに、交互に2回ずつ表示されて約8秒後に現在時刻画面に戻り、「留守番タイマー」が表示されて設定を完了します。

留守番タイマーを1回実行します。

留守番タイマー入 切 時刻を交互に2回ずつ表示

現在時刻表示に戻り、設定完了



※工場出荷時は、点灯「午後6:00」、消灯「午後10:00」に設定されています。



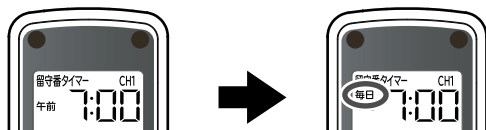
2

留守番を毎日実行したい場合は **留守番** ボタンを再び押す

- 「毎日」が表示され毎日実行します。

現在時刻表示で
「留守番タイマー」が表示

「毎日」表示



3

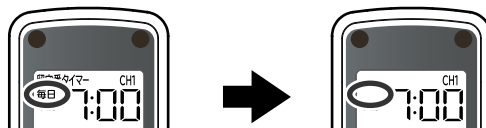
解除のしかた

解除したい場合は **留守番** ボタンを再び押す

- 「留守番タイマー」表示が画面から消えて解除されます。

現在時刻表示で
「留守番タイマー」「毎日」表示

表示無し



留守番の時刻変更

- 表示画面に「留守番タイマー」の表示をしている状態で、

1 **設定** ボタンを押すごとに、「留守番タイマー入」→「留守番タイマー切」→
現在時刻画面に戻る、と表示画面が切り替わります。
変更したい表示にしてください。

2 **↑** **↓** ボタンで時刻を設定します。

- ボタンを1回押すごとに1分刻みで時刻が変わります。

- ボタンを押し続けると10分刻みで時刻が変わります。

3 時刻を合わせたら **登録** ボタンを押します。

※設定を途中でやめたいときは **取消** ボタンを押してください。また、1分間操作がない場合は時刻設定を終了します。このとき、設定途中の時刻は登録されません。

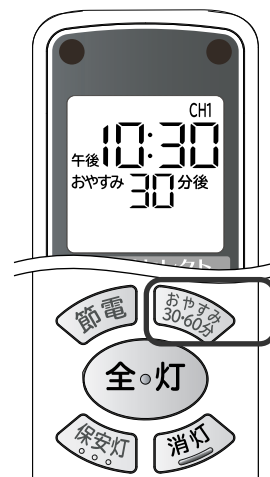
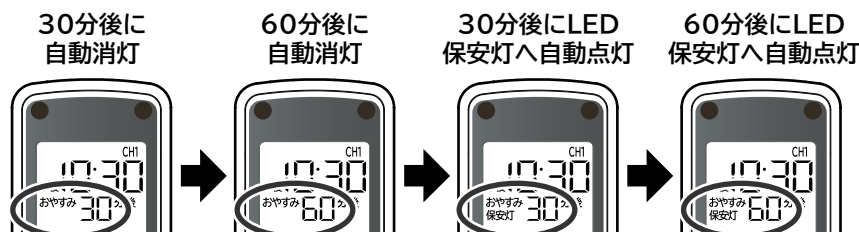
おやすみ30・60分

おやすみ30・60分で、30分後または60分後に自動消灯、30分後または60分後にLED保安灯へ自動点灯します。設定後は、自動消灯またはLED保安灯へ自動点灯するまでの残り時間も表示します。

設定のしかた

リモコンを器具に向け  ボタンを押す

-  ボタンを3秒以内に押すごとに設定を選択できます。
設定したい表示で本体から「ピッ」と電子音が鳴れば設定を完了します。



解除のしかた

- 設定後、3秒以上たってからリモコンを器具に向けて、再び  ボタンを押してください。本体から「ピピッ」と電子音が鳴って、表示画面から表示が消えて解除されます。
-  または  ボタンでも解除されます。

調色・調光

連続調色

光の色をきめ細かく調整できます。

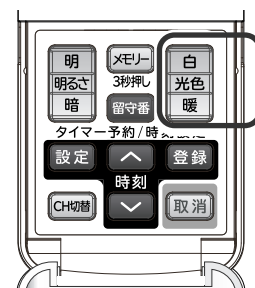
- 昼光色に近い白い色から電球色に近い暖かみのある色まで光の色を調整できます。
ただし、白と暖の明るさの上限は、全灯ボタンでの点灯時の約半分になります。



設定のしかた

点灯している状態で   ボタンを押す

- 操作ボタンを押しても点灯状態が変わらないときは、電子音が「ピッピッ」とます。
また、ボタンを1回ずつ押すと、白と暖の中間の光色になったときに電子音が「ピッピッ」と鳴ります。(押し続けた場合は鳴りません)



連続調光

LED光源・LED保安灯の明るさを100%(明)～約5%(暗)の範囲できめ細かく調整できます。

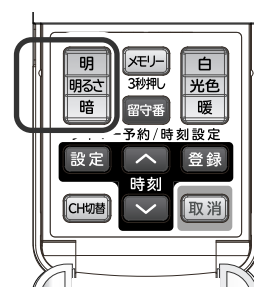


設定のしかた

点灯している状態で   ボタンを押す

- 操作ボタンを押しても点灯状態が変わらないときは、電子音が「ピッピッ」と鳴ります。
また、全灯など、白と暖の中間の光色になっているときに、ボタンを1回ずつ押すと、全灯の約半分の明るさになったときに電子音が「ピッピッ」と鳴ります。
(押し続けた場合は鳴りません)

※明・暗の調整範囲は、光色ボタンで調整した光色での上限、下限の明るさになります。



器具の取り外しかた

※代表型式 LEC-CH1201BJで説明しています。

- 1 電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切る**
 ※ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。



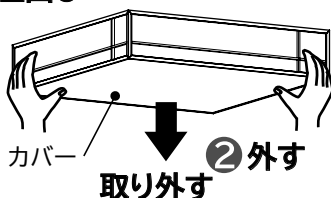
●器具の取り外しの際は、電源を切る

必ず守る

※電源を切らないと、感電の原因となります。

- 2 カバーを左に回して取り外す**

① 左回し

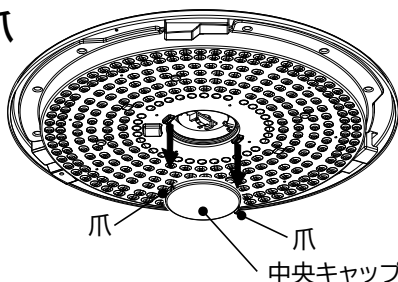


接触禁止

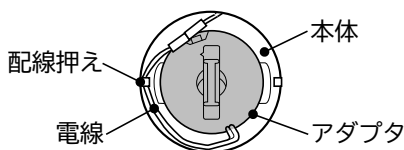
●消灯直後の器具は熱いので、時間をおいて本体が十分に冷えてから作業する

※やけどの原因となります。

- 3 中央キャップの両側の爪を持って取り外す**

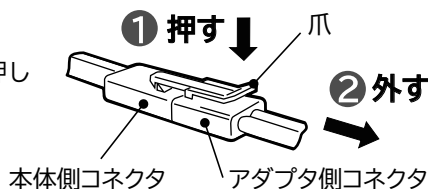


- 4 アダプタ側の電線を、配線押えから取り外す**



- 5 コネクタを外す**

●アダプタ側コネクタの爪を押しながら引き抜いてください。



禁止

●コネクタを無理に引き抜いたり、電線を引っぱったりしない

※電線が断線し、感電、故障の原因となります。

- 6 ハンドルの「◀」を「ロック解除」の位置にずらす**



- 7 本体中央部をしっかりと支えながら、アダプタのハンドルを右に回し、本体を外す**



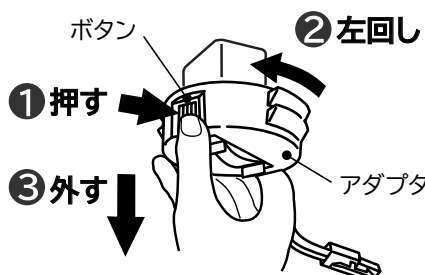
必ず守る

●本体が落下しないように、確実に本体を支えながら作業する

※手を離すと本体落下によるけがの原因となります。

- 8 アダプタを外す**

●ボタンを押しながら左方向に回してください。



禁止

●アダプタを無理に回さない

※引掛シーリングボディなどの破損の原因となります。

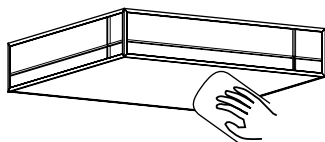
※器具の取り付けかたは → P.8～10 をご参照ください。

お手入れ

器具のお手入れ

●明るく安全にご使用いただくために、定期的にお手入れをしてください。

- 器具が虫やほこりなどで汚れたら、乾いた柔らかい布で軽くはたき落としてください。
- 汚れが落ちない場合は、柔らかい布に石けん水を浸して、よくしぼったのちふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
石けんとは天然油脂を原料としたものです。
(商品表示が「石けん」であることを確認してください。)



必ず守る

- お手入れの際は、電源を切る
※電源を切らないと、感電の原因となります。



禁止

- みがき粉・ベンジンなどの揮発性のもの・合成洗剤・化学ぞうきんでふいたり殺虫剤をかけたりしない
※割れ、傷、変色および落下によるけがの原因となります。



みがき粉



ベンジン



合成洗剤



化学ぞうきん



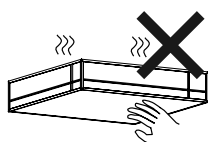
殺虫剤

器具取り扱い上のご注意



接触禁止

- 点灯中および消灯直後は、器具が熱くなっているの
で、触らない
※やけどの原因となります。



禁止

- カバーを外した状態で点灯したLED光源を直視しない
※目を傷めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。



お困りのときは

- もしこんな現象が起きたときは・・・
故障と思われる前に下の表にしたがって調べてください。

こんなときは	ここを確認してください	直しかた	ページ
明るさが変わった	●短い停電があった。	●短い停電で、壁スイッチの操作のように「点灯状態を切り替える」機能が働く場合があります。	13
リモコンを操作しても点灯しない	●壁スイッチが OFF になっている。	●壁スイッチをONにしてください。	6
	●コネクタがきちんと差し込まれていない。	●コネクタを確実に差し込んでください。	9
	●リモコンの乾電池が間違えて入っている。	●乾電池を正しく入れてください。	11
	●乾電池が寿命になっている。	●新しい乾電池と交換してください。	11
	●器具本体とリモコンのチャンネルが合っていない。	●チャンネルを正しく設定してください。	12
壁スイッチを操作しても点灯しない	●コネクタがきちんと差し込まれていない。	●コネクタを確実に差し込んでください。	9
タイマー予約が動作しない	●リモコンを、器具が動作する範囲内に置いていない。	●リモコンを器具の真下付近に置き、置いた場所から動作するか確認してください。	6
点灯状態が次々と切り替わる	●店頭展示状態に入っている。	●リモコンで消灯ボタンを、電子音が鳴るまで約10秒間長押ししてください。 全灯ボタンで点灯し、点灯状態が次々と切り替わらずに解除されていることを確認してください。	—
リモコンで消灯し、壁スイッチを操作しても点灯しない	●ON・OFF状態がわかる壁スイッチの場合	●壁スイッチを一度OFFにし、約1秒後に再度ONにしてください。	—
	●ON・OFF状態がわからない壁スイッチの場合 (押しボタン式で押すたびにONとOFFが切り替わり、今の状態がONなのかOFFなのかわからないタイプ)	●壁スイッチを約1秒間隔で2回押してください。 ●もし上記の操作で点灯しないときは、上記の操作後2秒以上待ってから、壁スイッチを約1秒間隔で3回押してください。	—

(上記の表にしたがって調べても直らない場合は、お買い上げの販売店などにご相談ください。)

※万一、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源を切り、異常状態がおさまったことを確認してから、お買い上げの販売店に、器具の型式(本体の器具銘板、リモコン受信部付近に表示)と現象を連絡のうえご相談ください。

仕様

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

仕様 型式	定格電圧	定格周波数	定格消費電力	LED保安灯 点灯時消費電力	消灯時 待機電力
LEC-CH1200BJ(～12畳)	交流 100V	50/60H z 共用	78.0W	0.5～1.0W (調光状態による)	0.4W
LEC-CH1201BJ(～12畳)					
LEC-CH1202BJ(～12畳)					
LEC-CH800BJ(～8畳)			62.0W		
LEC-CH801BJ(～8畳)					
LEC-CH802BJ(～8畳)					

- この器具はリモコン機能付き器具のため、リモコンで消灯した状態では上記の待機電力を消費しています。長時間ご使用にならないときは電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切り、節電を心がけてください。ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。

保証とアフターサービス

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明の点は下記窓口にご相談ください。
※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

修理などアフターサービスに関するご相談は
エコセンターへ

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

(受付時間) 9:00～19:00(月～土)、9:00～17:30(日・祝日)
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ

TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34

(受付時間) 9:00～17:30(月～土)、9:00～17:00(日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。携帯電話、PHSからもご利用できます。

保証期間中は・・・修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは・・・修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

保証期間・・・お買い上げ日から、LED光源基板・電源基板：5年、本体：1年です。
(詳しくは保証書をご覧ください。)

- 「持込修理」及び「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介します。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートはがきを送付させていただくことがあります。